



台北－東京リモート式共同開催  
ウィリアム・K・バルトン先生銅像復元建立除幕式

2021.3.30 台北駐日經濟文化代表処ホール

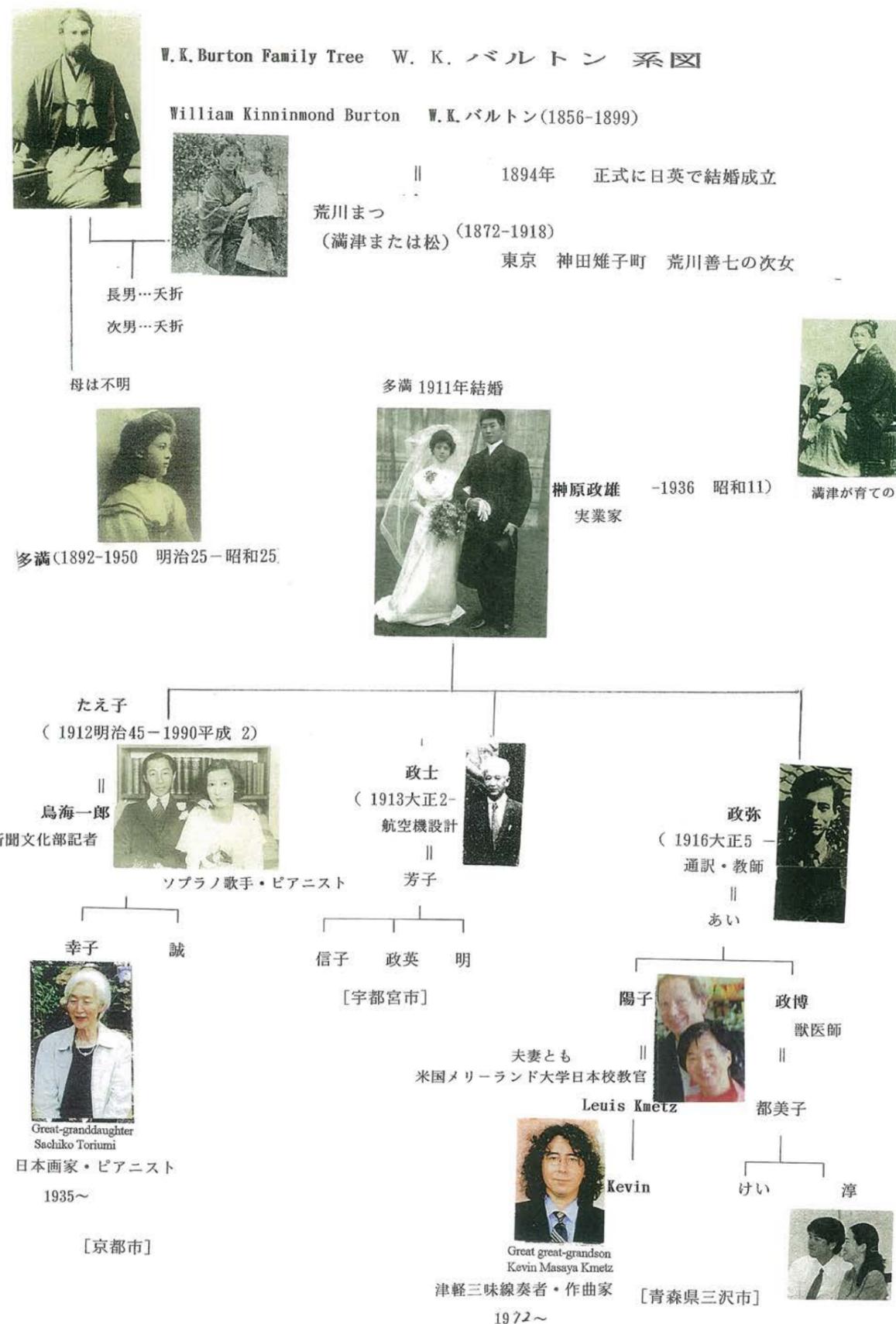
「ウィリアム・バルトン先生胸像除幕式の開催」

2021/03/29 台湾友の会更新

式次第

- 11:30~ バルトン先生のご紹介(水利専門家、李鴻源教授)(台北会場)
- 11:45-11:50 台北市市長 柯文哲よりご挨拶 (台北会場)
- 11:50 -11:55 台北駐日経済文化代表処謝大使よりご挨拶 (東京会場)
- 11:55-11:57 東京都小池百合子知事代理よりご挨拶代読 (東京会場)
- 11:57-12:15 バルトン先生末裔の三味線演出
  - ◆バルトン先生への偲ぶ言葉:  
第五代の玄孫・ケヴィン・メッツ
  - ◆記念演奏:先祖様への捧げる曲
  - ◆合奏:津軽三味線 ケヴィン・メッツ  
バグパイプ 山根 篤
- 12:15-12:20 英国在台辦事處代表鄧元翰 (John Dennis)  
よりご挨拶(台北会場)
- 12:20-12:25 日本下水文化研究会代表稲場紀久雄よりご祝辞の披露(東京会場)
- 12:25-12:35 ウィリアム・バルトン先生胸像除幕式(台北会場)
- 12:35-12:45 記念植樹式(台北会場)
- 12:45-12:50 ウィリアム・バルトン先生銅像贈呈式(東京会場)
- 12:50~ 「台湾友の会」会長黒須隆一(前八王子市長)より  
ご閉幕式挨拶  
集合写真 (東京会場)

●式次第のお問合せ:台湾友の会 事務局 長 鄧淑晶(トウ シュクショウ)  
Email:teng886kato81@gmail.com, TEL:080-1306-3679



## 台北駐日経済文化代表処 新聞参考資料

「台湾水道水の父—バルトン先生銅像復元除幕式典」  
台北—東京リモート式で共同開催

2021年03月30日更新

## ●活動の意義

台北駐日経済文化代表処は、この1年間あまり世界を席卷している新型コロナウイルス感染拡大の障害を乗り越え、3月30日に台北市政府と「台湾水道水の父・バルトン銅像復元除幕式」を共同開催します。このイベントは両者にとって初めての試みです。実施されることにより、台湾と日本との今後の交流のスタイルに新しい風を注いでいると言えるでしょう。

100年前、バルトン先生は勇気と熱意を持って、当時は瘴気の国として知られていた台湾に来て、衛生工学の建設の扉を開き、地元の人々の生活環境と衛生を改善に貢献しました。台湾と日本の無数の住民の命を守ることは、台湾の健康改善と疫病予防の(先駆者)パイオニアといっても過言ではないでしょう。したがって、バルトン先生の功績を称えるための銅像復元自体は現時点で新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えていない今日において、格別な意義が有るでしょう。

## ●バルトン先生とはどんな人物でしたか

「台湾の水道水の父」と呼ばれたウィリアム・K・バルトン(1856~1899)が後藤新平に推薦され、1896年に愛弟子の濱野弥四郎を率いて台湾に渡り、

衛生工学の調査・報告を行いました。その後バルトンの遺志は、濱野弥四郎とその部下の八田与一に引き継がれました。その結果、台湾の衛生、下水道、水利、灌漑農業で成功を収めました。それ以来台湾での公衆衛生と農業経済が、前例のない繁栄と成果を実現しました。

## ●バルトン先生銅像建立の経緯について

濱野弥四郎は、恩師のバルトン先生の遺志を完成後、「台湾の水道水の父」とも呼ばれました。濱野弥四郎は、恩師のバルトン先生の計画と功績を後世に伝えていこうと考えました。そのため、1919年に台北當時の水源地の現在の水道博物館にバルトン先生の銅像を建立しました。しかし、銅像は第二次世界大戦期間、不明となってしまいました。終戦後、園内の建築物は歴史的建造物と指定され、台北自來水園區として市民の憩い場に指定されました。

「日本下水文化研究会」会長稲場紀久雄先生は、台日水道歴史を一生の仕事として、40年間もバルトン先生の足元を辿り着き、研究をされてきました。今まで、奇美博物館、2019年に設立した台南山上花園区などにバルトン先生、濱野氏の資料、写真などを寄付されました。

2019年新型コロナウイルス感染拡大がなかなか収束しないため、台湾の「悪役の島」から脱することができたバルトン先生の功績をもう一度見直すべきだと考え、去年3月23日に台北市の柯文哲市長に、銅像復元する懇請文を出しました。幸いすぐ柯市長からの復原了承を得ました。このイベントは、台湾と日本間の水道交流の輝く新しいページになるでしょう。

## 「バルトン銅像除幕式」東京会場 大使挨拶参考資料

## ●「バルトン先生銅像復元除幕式典」日程：(東京会場の日程)(調整中)

- 11:00 東京会場受付開始  
 11:20 式典預備開始(預備與台北市政府開始現場連線)  
 11:30 バルトン先生のご紹介(水利専門家、李鴻源教授)(台北会場)  
 11:45-11:50 台北市市長 柯文哲よりご挨拶 (台北会場)  
 11:50 -11:55 台北駐日経済文化代表処謝大使よりご挨拶 (東京会場)  
 11:55-11:57 東京都小池百合子知事代理よりご挨拶代読 (東京会場)  
 11:57-12:15 バルトン先生末裔の三味線演出  
 ◆バルトン先生への偲ぶ言葉：  
 第五代の玄孫・ケヴィン・メッツ  
 ◆記念演奏：先祖様への捧げる曲  
 ◆合奏：津軽三味線 ケヴィン・メッツ  
 バグパイプ 山根 篤  
 12:15-12:20 英國在台辦事處代表鄧元翰(John Dennis)  
 よりご挨拶(台北会場)  
 12:20-12:25 日本下水文化研究会代表稲場紀久雄よりご祝辞の披露(東京会場)  
 12:25-12:35 ウィリアム・バルトン先生胸像除幕式(台北会場)  
 12:35-12:45 記念植樹式(台北会場)  
 12:45-12:50 ウィリアム・バルトン先生銅像贈呈式(東京会場)  
 12:50~ 「台湾友の会」会長黒須隆一(前八王子市長)より  
 ご閉幕式挨拶  
 集合写真 (東京会場)

●主催：台北市政府、日本下水文化研究会、台湾友の会

●共催：台北駐日経済文化代表処

●文史資料のお問合せ：台湾友の会 事務局長 鄧淑晶(トウ シュクショウ)  
Email:teng886kato81@gmail.com, TEL:080-1306-3679●メディアのお申込み：台北駐日経済文化代表処 葉嘉華 Email:wych@mofa.gov.tw  
(コロナ対策と席数などの関係で、事前申込が必要です。ご協力頂き有難うございます)

柯市長、泉代表、バルトン銅像再建除幕式にご出席の台北会場のご来賓の皆様、東京会場の日本下水文化研究会 稲葉先生、台湾友の会 黒須会長、ならびに日本の皆様、おはようございます。

私は台北で生まれ育ち、台北で長らく議員も務めました。台北の水道水を飲んで成長したと言っても過言ではありません。しかし、恥ずかしながら私はこれまでバルトン先生の功績を知りませんでした。昨年8月、バルトン先生の命日に、日本のNPO法人「日本下水文化研究会」代表の稲葉紀久雄先生のお誘いで、東京の青山霊園にあるバルトン先生のお墓を参拝し、慰霊祭とそのあと開かれたシンポジウムにも出席し、バルトン先生が台湾の水道の基礎を築いたことをはじめ、果敢に伝染病が蔓延する台湾に渡って水道建設計画を作り上げ、最後は伝染病で命を落としたことなどを初めて知り、大きな感動を覚えました。そのとき、台湾でのバルトン先生銅像再建除幕式に出席することをお約束したのですが、新型コロナウイルスの感染がまだ収まっていないため、台湾に帰国することができませんでした。そこで本日はオンライン中継の形で、東京からリモートで参加させていただきます。

台湾には「飲水要想源頭(Lim tsuí ài siūnn guān-thāu), 食果子要拜樹頭(Tsia̍h kué-tsí ài pài tshīū-thāu)」ということわざがあります。水を飲むときにはその源に思いを馳せ、果実を食べるときにはその木の根っこに感謝しなければならないという意味です。感謝は台湾の良き文化の一つです。台湾人がバルトン先生の貢献をもし知らなければ、それは残念なことです。本日、銅像が再建されたことにより、その気持ちを補うことができたのではないかと存じます。また、バルトン先生の銅像が再建されたことが、台湾と日本の交流の懸け橋となったことも大変うれしく思います。





提供：日本水道新聞社









2020/8/28

「日本衛生工学の父」たたえ 青山霊園でバルトン忌 台湾でも水道整備、台北に銅像再建へ /東京-毎日新聞

毎日新聞

## 「日本衛生工学の父」たたえ 青山霊園でバルトン忌 台湾でも水道整備、台北に銅像再建へ /東京

毎日新聞 2020年8月24日 地方版



バルトンの墓について台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表(右)に説明する稲場紀久雄さん=港区の青山霊園で

明治期に来日して上下水道整備に尽力し、「日本の衛生工学の父」と言われる英国・スコットランドの技術者、ウィリアム・K・バルトン(1856~99年)の功績をたたえる「バルトン忌」が20日、港区の青山霊園にあるバルトンの墓前で行われた。バルトンは台湾でも水道整備に奔走し「台湾水道の父」とも呼ばれ、台北市が銅像の再建を進めている。式には台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表(大使に相当)が初めて参列した。【鈴木玲子】

バルトンは1887年、コレラ流行への対応に苦慮していた明治政府の招きで「お雇い外国人技師」として来日。帝国大初の衛生工学教授に就任し、内務省衛生局の顧問技師になった。東京や大阪など各地の上下水道整備や衛生改善計画の策定や指導に奔走した。

また、「浅草十二階」と呼ばれた展望塔「凌雲閣」の設計も手がけた。高さ約52メートルで当時の日本で最も高い建築物だった。

96年には、政府の要請を受け、日本統治下にあった台湾に、教え子の浜野弥一郎と共に渡った。当時の台湾はコレラやマラリア、赤痢など風土病が流行し、排水溝は汚染した水であふれていた。バルトンは各地の源流地を調査し、風土病に苦しみながら台湾水道計画の基礎を築いた。99年、帰国直前に東京で急逝。43歳だった。

2020/8/28

「日本衛生工学の父」たたえ 青山霊園でバルトン忌 台湾でも水道整備、台北に銅像再建へ /東京-毎日新聞

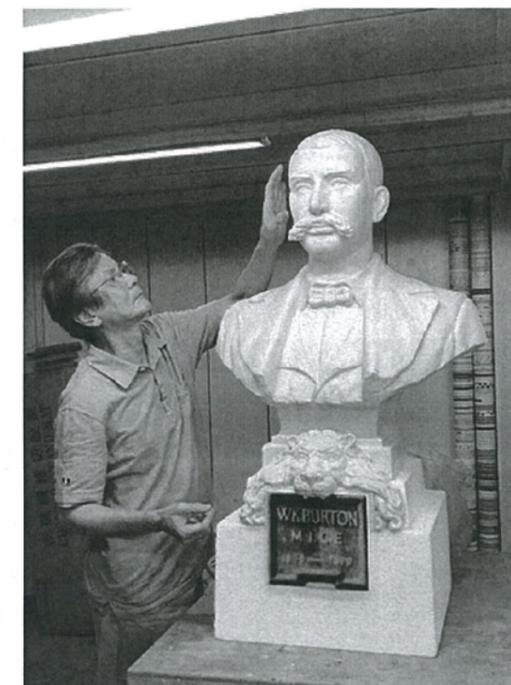
バルトンの銅像は浜野らが募金集めに奔走し、1919年に台北の給水場に設置された。しかし、その後の戦争による金属類供出令により撤去された。現在、台北市政府が像の再建準備を進めており、著名な台湾人彫塑家、蒲浩明さんが制作している。

バルトン忌はNPO法人「日本下水文化研究会」が92年から毎年開催している。式では、同NPO代表でバルトン研究者の稲場紀久雄さんが「今年で29回目だが、(新型コロナウイルスの)感染症流行期のバルトン忌は初めて。明治にはコレラが流行していたが、バルトン先生は自分の命の危険を冒して日本に来て近代的な衛生工学を伝えた」と偉業をたたえた。

謝代表は「私は台北出身で、ずっと台北の水道水を飲んできた。バルトン先生の台湾の水道に対する貢献を思うと、感謝の気持ちがこみ上げる。この歴史をもっと多くの台湾の人々に知ってほしい」と話した。

また、京都市に住むバルトンのひ孫、鳥海幸子さんからの「100年以上の歳月を経てなお台湾の方々は今も大切に思ってくださいることを本人も誇りに思っていることでしょう」とのメッセージが読み上げられた。

〔都内版〕



バルトン像を制作する蒲浩明さん=本人提供

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

画像データは(株)フォーカスシステムの電子透かし「acuagrophy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.

2021年3月30日

バルトン先生復元胸像除幕式典東京会場

## お礼の言葉と祝辞

於 台北駐日経済文化代表処ホール(白金台)

(1) 玄孫 ケヴィン・マサヤ・メッツ

「お礼とお祝いのスピーチ」

(2) 曾孫 鳥海幸子 「祝辞」

(3) ご親戚 ウィリアム・パトン

(スコットランド・アバディーン在住) 「祝辞」

(4) NPO 日本スコットランド協会

理事長 高橋愛朗「祝辞」

(5) NPO 法人 日本下水文化研究会

代表 稲場紀久雄「祝辞:悠久の生命」

台北市長 柯文哲様

### お礼とお祝いのスピーチ

私はバルトンの孫の孫で、ケヴィン・メッツと申します。

今日はこのような意義深い式典に参加させていただき、ありがとうございました。この素晴らしい式典の実現のためにご尽力くださいました多くの方々に、バルトンの玄孫として、心から深く御礼いたします。

私には6歳になる娘がいますので、バルトンがどんなに娘の多満(たま)を愛していたか、そして多満の将来のことを思い、ともにスコットランドに帰れる日を夢見て、その準備まで進めていたのに、まだ幼い多満を残して逝くことがどんなに悲しく心残りだったか、その思いが本当によくわかります。

でも、多満が日本に残されたおかげで、今私がここにおいて、バルトンのためのこのような立派なセレモニーに参加できるのですから、とても信じがたい、不思議な、夢のような、ありがたい事です。

今日は山根さんにスコットランドの音楽を演奏していただき、多満の曾孫の私が、父と娘の愛、そしてスコットランドと日本と台湾のきずなを主題とした即興の曲を日本の楽器で演奏して、バルトンと多満の御霊にささげたいと思います。

あらためまして、このような機会をお与えくださいました主催者の皆様、ご来賓の皆様に感謝申し上げます。

2021年3月30日

バルトン復元胸像除幕記念式典において

玄孫 ケヴィン・マサヤ・メッツ

台北市長 柯文哲様  
祝辞

本日は、W.K.バルトン胸像の除幕式挙行 にごまことにおめでとうございます。

台北市長様はじめ、台湾の上下水道、衛生工学関係者、市民の皆様の測り知れないご尽力により、高名な蒲浩明先生による気品のある立派な胸像が完成し、ゆかりの深い台北市自来水博物館に再建されますことは、子孫として、この上ない喜びでございます。

ご配慮によりまして、今から102年前に胸像が建立された3月30日を記念して行われる、この奇跡のような除幕式に、曾祖父バルトンの心は、没後122年の時を超えて、きっと皆様と共にその場にあることとさせていただきます。

また、日本において同時に祝う機会を与えて下さいました、台北駐日経済文化代表処・代表 謝長廷様に厚く御礼申し上げます。

世界から賞賛される台湾の予防医学、感染症対策、衛生行政に敬意を表し、今もバルトンを忘れずにいて下さる皆様に、心より感謝申し上げます。

2021年3月30日



W.K.バルトン曾孫

鳥海幸子

Mayor Dr. KO:

A Message of Congratulation and Thanks  
on the Reinstatement of the Statue of Professor Burton

I wish to congratulate on the reinstatement of the statue of my relative, William Kinninmond Burton. It is a century and a quarter since Burton laid out the plans for the infrastructure to provide safe drinking water in Taipei. And yet his endeavours feel very relevant today. Public health has re-entered the public consciousness more than ever. At the same time, the pandemic and its travel restrictions mean that the world feels both a lot bigger and a lot smaller. It is amazing to imagine the voyage across civilizations that saw Burton travel to Asia, carrying out his good works. It is gratifying to know that his journey was so worthwhile, ultimately saving countless lives. Now more than ever, this statue reminds us to remember, to recognize, and not to take for granted the many infrastructures that support our lifestyles. Thank you for continuing to honour this intrepid Scotsman.

29<sup>th</sup>, March, 2021

William Paton  
Grandhome  
Aberdeen  
United Kingdom

【翻訳文】

台北市長柯文哲殿

私の血縁に当るW.K.バルトンの胸像が復元されたこと、お慶び申し上げます。台北で安全な上水道施設が設計されて早や125年が経ちますが、彼のその時の努力は今日もなお価値を減ずるものでなく、人々の健康意識はかつてなく高まりを見せています。同時に、コロナ禍とそれに伴う旅行制限によって、世界が一層大きくなったとも、狭くなったとも言えそうです。バルトンがかつて幾つかの文明を股にかけてアジアに向かい、素晴らしい業績を果たしたことは想像するだけでワクワクしますが、そのアジア行が結局夥しい生命を救う有益な結果をもたらしたことを知って欣快に存じます。彼の胸像が、今日のライフスタイルの礎となる数多くのインフラを思い起こさせる縁(よすが)として、初めから当たり前存在したなどといった幻想を一層払拭してくれることを祈ります。いつまでも、この勇敢なスコットランド人を覚えて下さり感謝申し上げます。

ウィリアム・パットン  
(翻訳: 稲永丈夫)

(訳文)

## 祝辞

本日、W.K.バルトン胸像除幕式に当たり、東京のNPO日本スコットランド協会を代表して、一言ご祝辞を申し上げます。

私共の協会は、1985年日ス両国の文化的及び友好関係を促進するために設立されましたが、本日貴国の近代水道システム誕生の地にウィリアム・K・バルトン先生の胸像が建立されましたこと、誠に喜びいたします。

この慶事は、現在新型コロナ・ウイルスが世界中に蔓延し、全人類に大きな脅威を与えている状況に照らし合わせますと、誠に意義深いものがあります。何故なら、今日の除幕式は、皆様方がこの勇敢なスコットランド人エンジニアを久しく記憶に留めんと熱意に燃えて、今日私どもが享受している安全な飲み水と健全な衛生システムを誰に負っているかを常に思い起こす大切さを唱導するものに外ならないからです。

ここにバルトンに対して深甚の敬意と感謝の念を捧げ、「近代水道の父」を貴国と共有できる名誉を誇りに思う次第です。

近い将来御地を訪ね、「バルトンさん！」と親しく日本語で話しかける日も早やからんことを切望します。

末筆ながらこの記念像が両国のバルトンさんとの絆を将来に亘って益々深く強めるものとなりますよう、祈ってやみません。

2021年3月30日

NPO 日本スコットランド協会  
理事長 高橋愛朗

Mayor Dr. Wen-Je KO :

## CONGRATULATION

~ The Eternal Life of Prof. Burton ~

I congratulate the reconstruction of Prof. Burton's Bust and its unveiling ceremony heartily.

Mr. Yashiro HAMANO, a favorite pupil of Prof. Burton, spoke as the follows in the first unveiling ceremony which had been held on 30<sup>th</sup> March 1919, 102years ago from now.

"Prof. Burton had done his best for his mission in Taiwan. He would obtained his eternal life through this bust and keep his eye on Taiwan."

Regrettably, Prof. Burton's Bust had disappeared during World War II, but Prof. Burton's Bust has been reconstructed by Mayor Dr. Wen-Je KO and many citizens after 76years later from World War II. I am very glad you and many Taiwanese revived the eternal life of Prof. Burton through the reconstruction of his Bust. I expect the friendship between Japan and Taiwan will be strengthened more and more forever.

30th March 2021

Kikuo INABA, Dr. ENG.  
President, Japan Association  
on Drainage and Environment

可文哲市長様

## 祝辞: 悠久の生命

バルトン先生の胸像再建と除幕式の開催を心からお祝い申し上げます。

先生の愛弟子・濱野弥四郎は、今から102年前、1919年3月30日に挙行された最初の除幕式で次のように話しました。

「先生は、ご自身の使命のため全力を尽くされました。先生は、この胸像によって「悠久の生命」を得て、台湾を見守り続けるでしょう。」

先生の胸像は、残念なことに第二次世界大戦中、失われました。しかし、先生の胸像は、大戦から76年を経た今、市長様はじめ台北市民の方々によって再建されました。私は、台湾の方々が先生の胸像を再建し、先生の悠久の生命を甦らせたことに感謝と心からなる敬意を表します。そして、今後永久に日台の友好が強化されることを衷心より期待するものです。

2021年3月30日

稲場紀久雄  
NPO 法人 日本下水文化研究会代表

